

前 金	部分払い
<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無	0 回

平成 28 年度 下施排補第1号

## 一身田排水機場ポンプ設備(1号ポンプ)改築工事設計書

津市下水道局  
下水道施設課

平成 28 年度	下施排補第 1 号	工 事 設 計 書	局 長	
			局次長	
工 事 名	一身田排水機場ポンプ設備(1号ポンプ)改築工事		課長	
			検算者	
施 工 場 所	津市 一身田平野 地内		調整・ 担当主幹	
			担当副主幹	
設 計 金 額	¥	—	主査	
	(内消費税等相当額	円)		
工 期	平成29年3月10日限り		担当	
工 事 の 大 要			設計者	
<p>1号ポンプ設備改築 一式</p> <p>水中ポンプ（口径1,100mm） 1台</p>				

# 位置図

平成28年度下施排補第1号  
一身田排水機場ポンプ設備  
(1号ポンプ)改築工事



## 内 訳 表

費 目	工 種	種 別	細 別	数量	単位	単 価	金 額	摘 要
本工事費				1	式	———	———	
	機器費			1	式	———		明細表第1号のとおり
		直接工事費						
			輸送費	1	式	———		
			材料費	1	式	———		明細表第2号のとおり
			労務費	1	式	———		明細表第3号のとおり
			複合工費	1	式	———		明細表第4号のとおり
			直接経費	1	式	———		明細表第5号のとおり
			仮設費	1	式	———		明細表第6号のとおり
		計 (直接工事費)						
		間接工事費						
			共通仮設費	1	式	———		明細表第7号のとおり
			現場管理費	1	式	———		
			据付間接費	1	式	———		
		計 (間接工事費)						
		計 (据付工事原価)						
		設計技術費		1	式	———		

津市設計書用紙

## 内 訳 表

費 目	工 種	種 別	細 別	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
	計 (工事原価)							
	一般管理費等			1	式	——		
	現場発成品控除			1	式	——	▲	明細表第8号のとおり
	合計 (工事価格)							
	消費税等相当額			1	式	——		
本工事費計								

# 明 細 表

第 1 号

種 別	細 別	材 料	形 状 寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
機器費				1	式	—	—	
	水中ポンプ		コラム式 水中ポンプ 口径110mm	1	台			
	計 (機器費)							

津市設計書用紙

# 明 細 表

第 2 号

種 別	細 別	材 料	形状寸法	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
材料費				1	式	————	————	
	ルーズフランジ 短管		φ 1100mm L=480mm	1	個			
	補助材料費			1	式	————		
	計 (材料費)							

# 明 細 表

第 3 号

種 別	細 別	材 料	形 状 寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
労務費				1	式	——	——	
	一般労務費			1	式	——	——	
	普通作業員				人			
	設備機械工				人			
	配管工				人			
	電工				人			
	小計 (一般労務費)							
	機械設備据付労務費			1	式	——	——	
	機械設備据付工				人			
	小計 (機械設備据付労務費)							
	計 (労務費)							



# 明 細 表

第 4 号

種 別	細 別	材 料	形状寸法	数量	単位	単 価	金 額	摘 要
複合工費				1	式	———	———	
	電動機盤改造			1	式	———		
	モルタル仕上げ工			0.49	m <sup>2</sup>			
	塗装工	吐出管塗装		1.65	m <sup>2</sup>			
	塗装工	床板架台塗装		16.1	m <sup>2</sup>			
	はつり工			0.05	m <sup>3</sup>			
	計 (複合工費)							

# 明 細 表

第 5 号

種 別	細 別	材 料	形 状 寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
直接経費				1	式	———	———	
	機械経費	クレーン運転経費				日		
	軽微な機械器具損料			1	式	———		
	計 (直接経費)							

## 明 細 表

第 6 号

種 別	細 別	材 料	形状寸法	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
仮設費				1	式	—	—	
	仮設費率による足場損料等			1	式	—		
	仮設ポンプ			1	式	—		
	計 (仮設費)							

## 明 細 表

第 7 号

種 別	細 別	材 料	形状寸法	数量	単位	単 価	金 額	摘 要
共通仮設費				1	式	――	――	
	共通仮設费率計上			1	式	――		
	産業廃棄物処理費積上げ分			1	式	――		
	計 (共通仮設費)							

# 明 細 表

第 8 号

種 別	細 別	材 料	形状寸法	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
現場発生品(スクラップ)処分控除費				1	式	———	———	
	スクラップ			16.077	t			
	計 (現場発生品処分控除費)							

平成28年度下施排補第1号

一身田排水機場ポンプ設備  
(1号ポンプ) 改築工事

仕 様 書

津市下水道局下水道施設課

## 第 1 章 一般共通事項

### 1 適用範囲

本仕様書は、津市が発注する機械・電気設備に係る工事及び修繕（以下、「工事等」という。）に適用する。

### 2 関係法令等の遵守

本仕様書において特に明記無き事項については三重県公共工事共通仕様書（三重県県土整備部公共事業運営室監修兼編集）に従い施工すること。

また、機器仕様に記載した事項のほか使用する機器及び材料等については、その性質、操作性等を十分考慮したものを使用し、工事等の施工にあつては関係法令、県・市条例、規則、規定及び規格等を遵守することとし、下記に示す関係法令、基準、規格等については特に留意すること。

- (1) 労働安全衛生法
- (2) 消防法
- (3) 建設リサイクル法
- (4) 電気事業法
- (5) 内線規定
- (6) 建築基準法
- (7) 日本工業規格（J I S）
- (8) 電気規格調査会規格（J E C）
- (9) 日本電気工業会標準（J E M）
- (10) （機械・電気）設備工事一般仕様書及び標準仕様書（日本下水道事業団）
- (11) （機械・電気）設備工事共通仕様書（国土交通省大臣官房官庁営繕部）
- (12) 水門鉄管技術基準
- (13) 揚排水ポンプ設備技術基準・同解説（河川ポンプ施設技術協会）
- (14) その他関係法令、条例及び規格、日本下水道事業団(JS) 発刊基準類

上記の法令等は、すべて適用するものの内容が競合等の重複する場合には協議し決定する。

### 3 打ち合わせ

本工事等の請負契約締結後、すみやかに受注者は、本市監督員との打ち合わせ及び現場調査等を実施し、その施工内容を熟知すると共に、疑義があればこれを正し、受注者はその打ち合わせ内容についての議事録を作成し、記録等を整備するものとする。

### 4 環境配慮

受注者は、機器製作及び選定あるいは施工計画にあたり下記の事項について留意し、特に請負金額が750万円以上の場合にあつては、本市に建設副産物（スクラップ、コンクリート砕りガラ等）の再利用計画等について届けると共に、必要な書類を提出し、環境に配慮し施工しなければならない。

(1) 騒音、振動の抑制

本工事等において使用する建設機械にあつては、排出ガス対策型建設機械指定要領に基づき国土交通省で指定された建設機械を使用するものとする。

なお、排出ガス対策型建設機械に代えて、国土交通省で認定された排出ガス浄化装置を装着した建設機械についても、排出ガス対策型と同等とみなすものとする。

(2) 地下水のかん養（雨水浸透等）

(3) 建設副産物の再利用（掘削残土の削減、現場内利用の促進、コンクリートガラ等の再利用促進、その他リサイクルの推進）

(4) 廃棄物の適正な処分

(5) その他、機器選定等及び施工に係る省エネルギーの推進

5 承諾図書

受注者は、機器製作にあたり機器詳細仕様書、機器詳細図（製作機器及び購入機器の主要部品図、付属品図等を含む）、その他、必要な図書を本市に提出し、承諾を受けるものとする。

6 軽微な変更

全て設計図書及び仕様書に基づき施工するものとして、これに明記なきもの、軽微な変更については、本市監督員の指示によるものとする。

7 器材・機器類の保管

受注者は、本工事等に必要資材等の集積場所及び保管場所等について本市監督員の指示を受けて受注者の責任により管理すると共に、工事等の竣工引き渡しまでの器材・機器類等の保管、保護をしなければならない。

8 既設営造物の損傷、その復旧

受注者が既設の建築物及び構築物あるいはその設備、機器及び装置並びに備品等を破損、損傷または汚染した場合は、速やかに現状に復旧させると共にその費用の一切を受注者が負担する。

9 提出書類

提出書類は原則として三重県公共工事共通仕様書に記載するものの他、本市監督員の指示する必要な書類を提出するものとする。

なお、そのサイズは、指定なきものを除き全てA4版とする。

10 試験及び検査

(1) 受注者は、機器及び材料の試験を行い、その成績書を本市監督員に提出し、承諾を受けるものとする。

(2) 主要機器については、製作工場において本市監督員等の立ち会いのもとに諸試験を行うことがある。この場合、立会日の10日以前に必要な書類を添付のうえ、その試験、検査等について書面で申し出ること。



- (3) 機器、材料の検査及び試験のうち、公的またはこれに準ずる機関の発行した証明書等により、その成績が確認できるものについては、本市監督員の承諾のもとに省略することができる。なお、各試験、検査等は、受注者において必要な計器機器等を負担、準備し、実施しなければならない。また試験及び検査等に市監督員が立ち会わない場合は、その試験結果について写真、資料等を添付し本市監督員に報告すること。
- (4) 試験及び検査の結果、本市監督員等の承諾が得られず、工事等に使用することが不適当なものと判断された場合には、受注者は、いかなることがあっても使用してはならない。

## 1.1 機器製作及び現場施工の記録写真

### (1) 写真の分類

- ア 着手前、現場施工状況及び完成時写真（同一アングルにて撮影のこと）
- イ 機器製作状況写真（機器製作手順による工場製作状況写真、既製標準品は除く）
- ウ 現場施工写真（現場における施工状況写真）
- エ 安全管理写真
- オ 材料検収写真
- カ 品質管理写真
- キ 出来形管理写真

### (2) 写真の色彩、大きさ

カラー・サービスサイズ

### (3) 写真の撮影基準

- ア 写真の撮影にあたっては、工事名、工種内容、測点等の必要な項目を記載した小黒板を被写体と共に写し込むこと。
- イ 不可視部分の写真管理  
不可視になる出来形部分については、出来形寸法等が確認できるよう特に注意して撮影しなければならない。

## 1.2 施工監理

- (1) 請負金額500万円以上の工事等を受注または、変更した場合、受注者は三重県公共工事共通仕様書の「CORINSへの登録」に準じ「登録内容確認書」を監督員に提示しなければならない。
- (2) 受注者は、現場における工事開始と共に責任ある技術者を現地に常駐させ、工事等の期間中の危険防止対策を十分に行い、労働災害の防止に努めなければならない。
- (3) 受注者は、常に資材その他の整理整頓、清掃に努め、また修繕等の完了に際しては、施工場所の後片付け、清掃等を実施すること。
- (4) 機器、資材等の搬入は、できるだけ通学通勤時間帯を避けるものとして、万一、この時間と重なる場合には、関係車両は付近の住民等、一般車両を優先しなければならない。
- (5) 受注者は、付近の住民あるいは工事等の作業員に対して事故等、災害が発生した時は、速やかに本市監督員に報告しなければならない。

### 1.3 竣工

#### (1) 施設等の受け渡し（引き渡し）

工事等の完了に伴う設備、機器、施設等の受け渡しは、本市のほか必要な関係官公庁署の試験、検査等に合格した後とする。

#### (2) 技術指導

完成施設等の使用に先立ち各機器の操作技術について講習会等を受注者の責任において実施し、必要な資料を提出すること。

#### (3) 保証

ア 保証期間は、完成検査合格後（引き渡しの日より）2年間とする。

イ 保証期間中に生じた施工及び材質あるいは構造上の欠陥による全ての破損及び故障等については、受注者の負担にて速やかに補修、改造または新品と交換を行わなければならない。

ウ 保証期間満了時には、受注者の担当技術者を派遣し、設置機器あるいは工事等の対象設備の点検及び整備を実施しなければならない。

エ 保証書は、完成図書に綴じ込むものとする。

### 1.4 疑義

(1) 本仕様書及び添付図面等の内容についての不明な事項は、必ず本市監督員に照会し、説明を受けること。

(2) 施工中において、図面、仕様書、その他に疑義を生じた場合は、全て本市監督員の指示及び解釈による。

### 1.5 その他

(1) 本工事等の設計図書、仕様書に記載する一切の機材等は、全て受注者が調達するものとし、工事等の実施の結果、設計数量より多少増加したり、詳細にわたり明記されていない事項であっても工事等の性格上、当然必要なものについては、全て受注者の負担とする。

(2) 受注者は、工事等の施工にあたり特許権、その他第三者の権利の対象となっている機器、部材を設置または使用する時は、その設置及び使用に関する一切の責任を負うものとする。

(3) 設備機器等の維持管理上、必要な予備品、消耗品及び工具類については、その一覧表を本市監督員に提出し、承諾を受けた後、納入するものとする。

## 第 2 章 工事施工

### 1 工事概要

本工事は、一身田排水機場の、経年劣化により機能の低下している1号ポンプを更新し、ポンプ設備の機能回復を図ることを目的とするものである。

なお、既設1号ポンプの設備の内、蝶型弁以降は既設を流用し、ポンプ更新に伴い不使用となる潤滑油ポンプ、絶縁油タンク、減速機用ヘッドタンク及び配管等の撤去品は、適正にスクラップ処分又は廃棄物処分するものとする。

### 2 使用機器等仕様

#### (1) 主ポンプ

##### ア 使用目的

本ポンプは、スクリーンを通過した雨水を排水するものである。

##### イ 仕様

項目	仕様	備考
形式	コラム式水中斜流ポンプ	
ポンプ口径	φ 1 1 0 0mm	
吐出量	1 4 5 m <sup>3</sup> /min	
全揚程	3. 1 m	
ポンプ効率	7 9 %以上	
原動機出力	1 2 0 kW	参考値
回転数	2 1 5 min <sup>-1</sup>	参考値
周波数	6 0 Hz	
電圧	4 4 0 V	
コラム長さ	4. 5 m	
中間軸受	無し	
設置方式	1 床式	
流量制限	無し	
台数	1 台	
起動方式	スターデルタ方式	

##### ウ 構造概要

(ア)本ポンプは、雨水を揚水するもので、連続運転に耐える堅ろうな構造とする。

(イ)ポンプは振動や騒音が少なく、円滑に運転できると共に、特に有害なキャビテーション現象が発生しないような構造とする。

(ウ)ポンプ本体は、羽根車、減速機及び電動機が一体となった構造とし、ポンプの脱着はコラムパイプ、ケーシングを除く主要部(羽根車、減速機及び電動機)のみを昇降できる軽量構造とする。

- (エ)羽根車は、異物混入に対し、堅ろうであること。また、羽根車の形式はオープン型とし、摩擦損失を最小にし、平衡を十分ととり、振動、ブレ等生じないものとする。
- (オ)主軸は、動力の伝達と危険速度、たわみを考慮して十分な強度を有すること。なお、水中モーターとの間にはメカニカルシールを設けて水の浸入を防ぎ、必要に応じて取替えられる構造とする。

エ 製作条件

- (ア)流入水はスクリーンを通過し、砂等を除去した雨水である。
- (イ)ポンプの運転は、起動時締め切り運転が可能であること。
- (ウ)ポンプは軽量化を図ると共に、フロア上部床板に強固に固定し、ポンプ運転時の荷重を支持できる構造とする。
- (エ)ポンプ据付開口部φ2200にて設置が可能なものとする。
- (オ)ポンプベースにあっては原則既設ソールプレートを使用することとするため、現地調査を密に行い、ポンプの製作を行うこと。
- (カ)ポンプの起動方式は、スターデルタ起動とする。
- (キ)動力ケーブル・制御ケーブルは、ポンプの吊上げ、分解時において必要十分な余裕を持った長さとする。
- (ク)保護装置は、温度上昇を検知するサーマルプロテクタ、電動機の浸水及び油面低下を検知できる浸水検知器を設置する。

オ 使用材料

部品名	材質
吸込みベルマウス	FC250以上
吐出ボウル	FC250以上
主軸	SUS420J2以上
羽根車	SCS13以上

カ 試験、検査

本ポンプの検査は機械設備工事必携に基づいて行うものとし、製作工場にて組立完了後JISB83に準拠した性能試験を行う。

キ 据付

本機器の据付は、水準器等によって正確に芯出し調整を行う。本ポンプの据付にあたっては既設ポンプのソールプレートを用いることを原則とする。

既設ポンプより重量が重くなる場合は、架台補強等を行うこと。

ク 付属品

水中ケーブル(約15m)	一式
ポンプ用吊り金具	一式
基礎ボルト	一式
連成計(隔膜式、コック、配管共)	1個
自動空気抜弁	1個
ケーブルスタンド	一式
特殊工具	一式

- その他ポンプ更新に伴う必要な部品類 一式
- ケ 予備品
  - メカニカルシール 一式
  - その他必要なもの 一式
- コ その他

1号機電動機盤までの動力及び制御線の配線は本工事にて行う。

## (2) 吐出管(ルーズフランジ短管)

### ア 使用目的

主ポンプの吐出管として設けるものである。

### イ 仕様

項目	仕様	備考
形式	ルーズフランジ短管	
口径	φ 1 1 0 0mm	
面間寸法	約 4 8 0mm	ポンプとの整合を図る
フランジ規格	JIS G 5527	ポンプ側 7.5 k 吐出側 2 k
数量	一個	

### ウ 構造概要

ポンプ吐出曲管フランジ面より吐出弁フランジ面の間に設ける。なお、ポンプ吐出部は、補修、管理を考慮してルーズフランジ付とし、フランジの有効な遊動量は5～10mm程度を見込み、遊動部は離脱及び漏水の生じない構造とする。

### エ 使用材料

- (ア)ルーズフランジ短管 FCD400以上
- (イ)ルーズフランジ SS400相当

### オ 付属品

- (ア)全面パッキン 一式
- (イ)ボルト、ナット 一式

## (3) 複合工

### ア 盤改造(1号電動機盤、低圧補機動力盤)

#### (ア)改造内容

- a電磁接触器の更新
- b主ポンプ機及び減速機給油設備廃止に伴うシーケンスの変更
- cサーマルプロテクタ、浸水検知器及びポンプ油面低下検知機能等の追加によるシーケンス変更
- d不使用機器及び配線の撤去

#### (イ) 更新機器

- a電磁接触器 一式
- b配線用遮断器 一式

## (ウ) 追加・廃止接点項目

	機器名称	保護装置
追加	主ポンプ(更新)	浸水検知器
		電動機温度検知
		油面低下検知
廃止	主ポンプ(既設)	タンク油面検知
	絶縁油タンク	タンク油面検知
	減速機用ヘッドタンク	タンク油面検知
		油温度検知

## イ 塗装工

吐出管及び床板架台の塗装を行う。

## (ア) 吐出管

機械設備工事一般仕様書による。

## (イ) 床板架台

名称	上塗	塗装面積
床板架台	長油性フタル酸塗料	16.1 m <sup>2</sup>

## (4) 仮設工

## ア 仮設概要

主ポンプ更新に伴う既設ポンプの撤去から新設ポンプ設置までの期間、ポンプの運転不可能期間になるために、仮設ポンプ、吐出管、制御盤及び仮設発電機等を設置する。

## イ 仮設ポンプ仕様

(ア) 総吐出量 33 m<sup>3</sup>/min以上全揚程 7 m以上の水中ポンプ等とし、設置場所は機場内の水路若しくは沈砂池とし、口径、台数は、任意とする。

(イ) 吐出管は、水路若しくは沈砂池の底から吐出槽までの高さ約 5.8 mに放流できるもの。

(ウ) 仮設発電機の定格出力は仮設ポンプを全台運転できるものとし、設置場所は自家発電機室内又は屋外とする屋外設置の場合は本市監督員と協議して設置を行うこと。

(エ) 仮設発電機は超低騒音仕様とする。

(オ) 仮設ポンプ及び仮設発電機は、水位による自動運転とする。

(カ) 仮設の運転及び故障等は、受注者が行うこと。

(キ) 仮設据付後、試運転を行うこと。

## (5) 撤去工

## ア 撤去概要

主ポンプ更新により、不使用となる潤滑油ポンプ、絶縁油タンク、減速機用ヘッドタンク及び配管等を撤去する。

イ 撤去物

名称	形式	仕様	数量	重量
主ポンプ	立軸チューブラポンプ	口径 1100 mm 出力 120kw	1 台	15ton
吐出管	ルーズフランジ短管	口径 1100 mm 面間寸法 480 mm	1 個	0.55ton
減速機用 ヘッドタンク	鋼板製角形槽	225L	1 台	0.2ton
絶縁油タンク	鋼板製円筒槽		1 台	0.1ton
潤滑油ポンプ	ギヤーポンプ	48ℓ/min	1 台	0.05ton
配管	SGPW	15A	2.9m	0.177ton
配管	SGP	25A	27.3m	
配管	SGP	65A	14.2m	

ウ 基礎工

番号	名称	設置場所	工種
1	オイルタンク 基礎はつり	屋内	はつり工
			モルタル仕上工
2	潤滑油ポンプ 基礎はつり	屋内	はつり工
			モルタル仕上工

## 第 3 章 特記事項

### 1 他工事等との協調

施工現場において他の工事等と競合、輻輳する場合には、必ず本市監督員の指示を受け他工事等との協調を図り施工すること。

### 2 作業日時

作業日時は、土、日曜日、祝日を除く 8 時 30 分から 17 時までとする。時間外作業をするときは、本市監督員の承諾を得ること。

### 3 発生材の処分

機器の設置に伴った発生材等についての処分にあつては特に留意し、施工中はもとより施工終了後においてもその処分経過を明らかにしておくこと。

### 4 産業廃棄物税

本工事には産業廃棄物税相当分が計上されていないため、受注者が課税対象となった場合には完成年度の翌年度の 4 月 1 日から 8 月 31 日までの間に別に定める様式に産業廃棄物税納税証明書等を添付して当該工事の発注者に対して支払い請求を行うこと。なお、この期間を超えて請求することはできない。また設計数量を超えて請求することはできない。

### 5 現場施工の時期

本工事施工の時期にあつては、本市監督員と協議のうえ決定し、既存施設の機能をできるだけ損なわないように留意し施工すること。

特に、既設ポンプの撤去は、1 月 1 日以降の渇水期に実施することとし、極力短期間で復旧（新設ポンプの運転）できるように、工法・施工手順等について充分本市監督員と協議すること。

### 6 工事完成報告書

工事完成報告書の提出部数は 2 部とする。

### 7 完成図書

完成図書（施工図及び取扱説明書等を含む）の提出（市販 A 4 ファイル）は、1 部とするが、既存図書の完結方法は、下記のとおりとする。

(1) 完成図書は、浄化センター及び中継ポンプ場の既存完成図書に本工事を追録、差替、不必要なものは削除等を行い 3 冊納入すること。なお、差替等により既設完成図に納まらない場合背表紙他を作成し、又 1 冊に出来ない場合（厚さ約 150 mm 以上となる場合を含む）は、黒表紙（現行の完成図書並）2 分冊以上として納入すること。この場合も既存同様完成図書としては、3 冊完結すること。

(2) 完成図書は過去の状況が判る様（工事名、工事内容、工期その他）な工事目録等整理のうえ、目録表を保証書の次面に添付綴じ込むこと。この場合、既設完成図書の状況を把握、調査を行い必要に応じて既設記入箇所部分に追録を行うこと。

(3) この章以外の完成図書の完結方法等（やむなく上記が出来ない事情における完成図書の完結を含む）については、別途協議するものとする。



(4)提出書類等を含めて疑義・不明なる項目については監督員と協議するものとし、必要に応じて議事録をもって処理すること。

## 第 4 章 前金支払いに関する事項

### 【前金の支払い】

請負代金の額が130万円以上の契約において、受注者が公共工事の前払金保証事業に関する法律に規定する保証事業会社の保証を明示した場合で、市が必要と認めたときは、請負金額の10分の4以内で、かつ当該支出予算の範囲内で前払いするものとする。

## 第 5 章 工事施工監理に関する事項

### 【部分下請負通知書】

受注者は、工事等の一部分において下請負させる場合は、部分下請負通知書を監督員に提出するものとする。なお、下請負業者（再下請負業者も含む）との契約書等の写し、下請負業者（再下請負業者を含む）の建設業の許可の写し及び主任技術者等の資格者証の写し等を添付するものとする。

### 【現場の管理】

受注者は、監理技術者、主任技術者（下請負を含む）及び元請負の専門技術者（専任している場合のみ）に、工事現場内において、工事名、工期、顔写真、所属会社名及び社印の入った名札を着用させるものとする。

<名札の一例>

<b>主任・監理技術者</b>	
写真 2 c m × 3 c m 程度	氏 名    ○○ ○○
	工事名    ○○工事
	工 期    自○○年○○月○○日 至○○年○○月○○日
	会 社    ○○株式会社        印

注1) 用紙の大きさは名刺サイズ以上とする。

注2) 所属会社の社印とする。

### 【施工体制台帳等】

受注者は、工事を施工するために下請負契約を締結した場合には、下請金額にかかわらず施工体制台帳を作成し、工事現場に備えるとともに、その写しを監督員に提出するものとする。

## 第6章 暴力団等の不当介入の排除等に関する特記仕様書

### 1 趣旨

この特記仕様は、本市が締結する契約等からの暴力団、暴力団関係者、暴力団関係法人等（以下「暴力団等」という。）の不当介入を排除し、契約等の適正な履行を確保することに関し、必要な事項を定めるものとする。

### 2 用語

この特記仕様における用語は、津市の締結する契約等からの暴力団等排除措置要綱（平成21年津市訓第34号）において使用する用語の例による。

### 3 受注者等の義務

- (1) 本市の契約等の相手方及び下請負人等（以下「受注者等」という。）は、暴力団等と認められる下請負人等を使用してはならない。
- (2) 受注者等は、暴力団等と認められる資材販売業者から資材等を購入してはならない。
- (3) 受注者等は、暴力団等と認められる廃棄物処理業者が有する廃棄物処理施設及び廃棄物処理業者等を使用してはならない。
- (4) 受注者は、本市と締結した契約等の履行に当たり、受注者等が暴力団等による不当介入を受けたときは、断固としてこれを拒否し、直ちに本市に文書にて報告するとともに所轄の警察署に通報し捜査上必要な協力をするものとする。この場合において、捜査上必要な協力を行ったとき、受注者は速やかに本市に文書にてその内容を報告しなければならない。

なお、受注者等が不当介入を受けたことを理由に契約期間の延長等の措置が必要となったとき、受注者は本市に契約期間の延長等を求めることができる。

### 4 入札参加資格者等及び受注者等に対する措置

入札参加資格者等又はその役員等が暴力団等と認められるとき、暴力団等と密接な関係を有していると認められるときなどは、当該入札参加資格者等に対し、津市建設工事等指名停止基準（平成21年4月8日施行）に基づく指名停止措置を講じるものとする。

また、上記3の義務に違反した受注者等に対しても、同様に指名停止措置を講じるものとする。

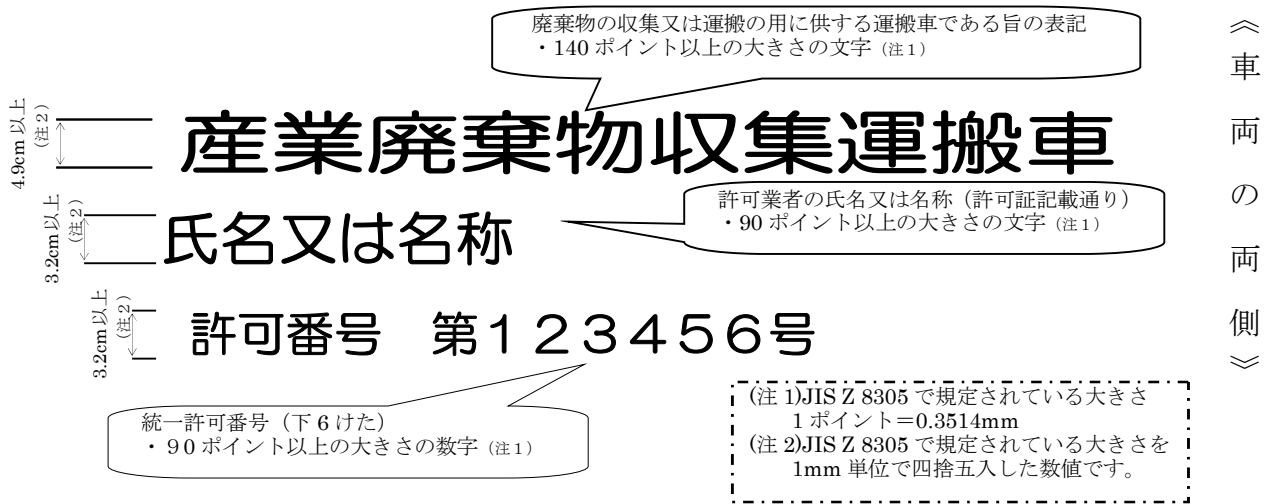
### 5 契約等の解除

上記の暴力団等と認められるときなどにより指名停止措置が講じられた入札参加資格者等との契約等については、これを解除することができる。

## [産業廃棄物収集運搬車への表示・書面備え付け]

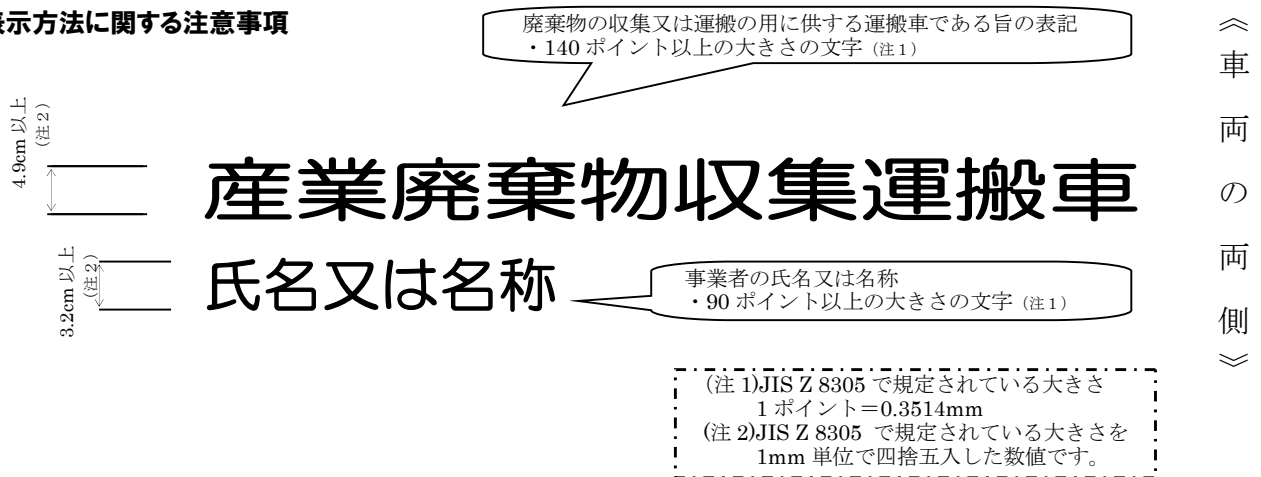
産業廃棄物の収集運搬に係る表示及び書面備え付けを行うものとする。

### 産業廃棄物（特別管理産業廃棄物）収集運搬業者の表示例



### 排出事業者が自ら収集運搬する場合の表示例

#### 表示方法に関する注意事項



#### 表示方法に関する注意事項

- ・車両の両側面(車体の外側)の見やすい位置にわかりやすいように表示すること。
- ・表示は車体に直接塗装するか、プレートを車体に釘で固定することが望ましい。やむを得ずステッカー、はめ込みプレート、マグネットにより着脱が可能な方法で表示を行う場合、ステッカー等の素材には風雨に耐えられるものを使用すること。また、走行中に破損したり、車体から外れたり、他者に容易に取り外されないようにすること。
- ・文字・数字には、車体・ステッカー等の色を考慮し、識別しやすい色を用いること。また、風雨でかすれたり、容易に書き換えられないようにすること。汚れ等が付着した場合は、ただちに取り除くこと。

## 配慮依頼事項

受注者においては、この契約を履行するにあたって、下記のことについて御配慮いただくようお願いします。

なお、当該配慮依頼事項は、発注者である津市が受注者の自由な協力をお願いするものであり、受注者が津市のお願いに応じなかった場合に、受注者に対して、不利益を課すものではありません。

### 記

- (1) 下請契約又は再委託（一次下請以降のすべての下請負人又は再委託者を含む。）が認められた契約にあつては、下請契約又は再委託等において市内本店事業者を活用することに配慮してください。
- (2) 資材、原材料等の調達が必要となる場合は、市内本店事業者から調達すること及び地元製品、地元生産品を使用することについても配慮してください。
- (3) 建設機械、機器等の借入れが必要となる場合は、市内本店事業者から借入れすることに配慮してください。
- (4) 業務従事者等の使用人等が必要となる場合は、使用人等に市民を活用することに配慮してください。